

2007 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS

Pokka 1000km
36TH INTERNATIONAL POKKA 1000KM8.18^{SuperLap} sat 19^{Race} sun
SUZUKA CIRCUIT

2007 オートバックス SUPER GT 第6戦

第36回 インターナショナル ポッカ1000km

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 1周 5.807km

- 大会名称：2007 オートバックス SUPER GT 第6戦 第36回インターナショナル ポッカ 1000km
- 同日開催：2007年 西日本フォーミュラ4選手権シリーズ第4戦 / Netz Cup Vitz Race 2007 関西シリーズ 第4戦
- 主催：鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社 モビリティランド
- 冠協賛：株式会社 ポッカコーポレーション
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：GTアソシエーション(GT-A)

伝統の戦いに36回目の歴史が刻まれる。
Pokka 1000kmが今年もSUPER GT第6戦として開催！



1963年鈴鹿サーキットで歴史的な第1回日本グランプリが開催され、日本のモータースポーツはこれを機に飛躍的な発展を遂げるようになった。それからわずか3年後の1966年、同じ鈴鹿サーキットで1000kmもの距離を走り通す長距離耐久レースが開催された。それが今日まで続く「インターナショナルPokka1000km」だ。途中中断があったものの、今年で36回目の開催。これほど長きに渡って開催されているレースは国内では他にない。その戦いもまさに歴史が息づいたもので、第1回の優勝はトヨタ2000GTだった。

80年代はモンスターマシンと呼ばれたグループCカーの戦いが続き、ポルシェ956、962C、トヨタ87C、ニッサンR90CP、91CPなどが優勝を飾った。92年には世界スポーツカー選手権として開催されトヨタとプジョーが死闘を演じた。その後はGTカーの戦いとなり、97年、98年にはFIA-GT選手権として開催され、メルセデスCLK-GTRがポルシェ911GT1、マクラーレンF1GTRとの激戦を制して優勝。

そして99年に優勝したのがホンダNSXだった。その後は国産GTカーの時代を迎えNSX、トヨタ・スープラ、ニッサン・スカイラインGT-Rが激突。昨年からは伝統の1戦はスーパーGTシリーズの1戦として開催されることになったのだ。これまで数々の名勝負を演出してきたPokka1000km。昨年も大本命、耐久王と言われたホンダNSXを破ってフェアレディZが1-2フィニッシュを飾るなど、伝統の1戦にふさわしい戦いとなった。今年も歴史に残る戦いが展開されるのは間違いないだろう。

シリーズチャンピオンに向けて重要な戦い。 真夏の鈴鹿バトルを制した者が栄光に王手をかける！



M・クルム／松田次生組のMOTUL AUTECH Z(左)と



本山哲／R・ライアン組のXANAVI NISMO Z(右)



立川祐路／高木虎之介組のZENTセルモSC(左)と



伊藤大輔／R・ファーマン組のARTA NSX(右)

強さの証明でもある。ここでライバルたちを押さえればタイトルにぐっと近づくことになるからだ。

そしてこれはGT300クラスも同じ。開幕戦鈴鹿でフェアレディZの影山正美／藤井誠暢組が優勝すると、第2戦はMR-S(大嶋和也／石浦宏明組)が、第3戦は1年ぶりに復活した名車ガライヤ(新田守男／高木真一組)が優勝。ランボルギーニ・ムルシエラゴ、紫電なども常に上位につけており、GT500クラスを上回る混戦模様。やはりPokka1000kmがタイトル争いの鍵を握ることになりそうだ。



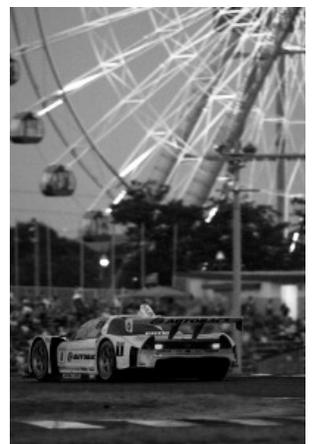
GT-300クラス。左からフェアレディZ(影山正美／藤井誠暢組)、MR-S(大嶋和也／石浦宏明組)、ガライヤ(新田守男／高木真一組)、紫電

夕闇の中をヘッドライトの光が駆け抜け、勝者を称える大輪の花火が 戦いのフィナーレを告げる



スーパーGTシリーズの中で唯一ヘッドライトを点灯するのがPokka1000km。毎年太陽が西の空に沈み、サーキットが夕闇に包まれるころに感動のゴールを迎えるのだ。その前にライトオンのサインボードが出され、全車一斉にヘッドライトを点灯。その光がサーキットを駆け抜ける様は幻想的ですからある。まさにPokka1000kmでしか見ることのできないシーンだ。

ゴール後に打ち上げられるのが勝者を称える、と言うよりも全てのドライバー、チームの健闘を称える花火だ。大輪の花が次々と鈴鹿サーキットの空に打ち上げられ、熱く長く、そして激しかった戦いの終わりを告げてくれる。



観戦環境向上宣言!

Pit-FMラジオ放送76.0MHzを開局

携帯FMラジオ(とイヤホン)を持ってきてね!

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声をラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。

■Pokka1000km観戦ガイド

レース当日配布

レースやイベントの最新情報から、お得な話題まで情報満載! 会場でGetしてね。

レース開催数日前より、鈴鹿サーキット公式HPよりダウンロードいただけます(予定)



今年も大好評のクールダウンエリアを設置!

真夏のレースはチーム・ドライバーと共に、ファンも暑さ対策が必須。十分な水分補給と、観戦の合間に日陰での休憩も欠かせない。そこで、昨年大好評だったクールダウンエリアを会場の各所に設置。観戦の合間に、日陰とクールミストでクールダウンしよう。

レースもイベントも、Pokka1000kmは楽しさいっぱい!

大好評のキッズウォーク開催!



ピットウォークは混雑していて子供と一緒に心配という家族連れに朗報! お子様連れの方のみ参加できるGTキッズウォークを予選日のスーパーラップ終了後に開催! 対象は中学生以下の子供と保護者で入場無料。

■日時: 8月18日(土) セッション終了後
■場所: ピットレーン

GT MEMBERS' ステージ イベント

ドライバートークショーでは、レース前の出場選手の”生の声”が聞けるチャンス! ほかに、鈴鹿サーキットクイーンやレースクイーンが出演するキャンギャルオンステージも開催。



■場所: グランプリスクエア

オートトレンド サマーフェスタ 2007

スーパーカーが、チューニングカーが、そして話題の輸入車が一堂に集まるオートトレンド。オートトレンド サマーフェスタ2007がPokka1000kmが行われている鈴鹿サーキットで、8月18日(土)・19日(日)の2日間開催される。また、18日(土)にはデモ走行も予定されており、展示会場では見られない、迫力の走行を見て楽しむこともできる。このチャンスを見逃すな!

■展示日時: 8月18日(土)・19日(日)
■展示会場: 鈴鹿サーキット 交通教育センター内特設会場
■デモ走行: 18日(土) 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 東コース

チューニングカーデモ走行

8月19日(日)には、チューニングカーのデモ走行が行われる。

■日時: 8月19日(日) (時間未定)
■会場: 鈴鹿サーキット国際レーシングコース東コース

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

6月19日(火) チケット発売開始!

レースチケットセンター窓口は6月22日(金)より発売開始

前売り観戦券 (税込)		
大人 (パスポート付)	ペア(大人2名) (パスポート付)	中高生
5,000円	9,000円	1,600円

前売り指定席券 (税込)		
決勝日のみ有効・別途観戦券必要・A・C・Eエリア入場可能		
V指定席	S1指定席	S2指定席
5,000円	2,000円	1,500円

前売りファミ得チケット (税込)		
A・C・Eエリア付き (決勝日のみ有効) パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人2名 + 子供1名(3歳以上高校生以下)	追加券 大人	追加券 子供 (3歳以上高校生以下)
13,000円	6,000円	3,000円

前売りエリア指定席付き観戦券 (税込)	
A・C・Eエリアは決勝日のみ有効 パスポート付き (土・日いずれか1日)	
大人観戦+A・C・Eエリア	6,000円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。
 中高生/1,600円・小学生/800円・3歳～未就学児/600円
 ※高校生以下の方は、A・C・Eエリアへ無料でご入場いただけます。
 ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。
 ※指定席券は決勝日のみ有効です。
 ※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。
 ※エリア指定席付観戦券は前売りのみの販売となります。
 ※V、S1、S2指定席券をお持ちの方は、A・C・Eエリアへの入場ができます。
 ※V、S1、S2指定席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。
 ※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売いたしません。お早めにお求めください。

当日観戦券 (税込)		
	大人	中高生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込)			
決勝日のみ有効・別途観戦券必要			
V指定席	S1指定席	S2指定席	A・C・Eエリア
5,500円	2,500円	2,000円	1,500円

C席にサーキットビジョン設置! A・C・Eエリア全てでビジョンが見れる!

GT300kmで好評だったC席向けの仮設サーキットビジョンが今回も登場!
 ※C・E席向けのサーキットビジョンは19日(日)のみ映像配信となります。
 ※写真はC席向けのサーキットビジョンです。



前売りファミ得チケット

観戦券、A・C・Eエリア(決勝日のみ有効)と、パスポート(土・日いずれか1日)がセットになって
大人2名+子供1名(3歳以上高校生以下) セットで

なんと! 13,000円(税込)
 ※追加の場合1名に付き大人6,000円、子供(3歳以上高校生以下)3,000円

大好評の「Hondaファンシート」、Pokka1000kmでも登場!

Hondaファンのみならずオリジナルグッズを持ってHondaを応援しよう! 最終コーナーB2席(自由席)に今回もHondaファンシートが設置される。Honda Racingドライバーのファンシートエリアを訪問も予定されており、レースの意気込み・マシンコンディション等の情報を直接ゲットできるかもしれない。また、ファンシートエリア上の広場ではHondaマシン展示コーナーを設営。Hondaのマシンを近くでご覧いただけます。



ドライバー訪問の様子

ホンダファンシート対象チケット

- ★前売観戦券
- ★前売りファミ得チケット
- ★前売りエリア指定席付き観戦券

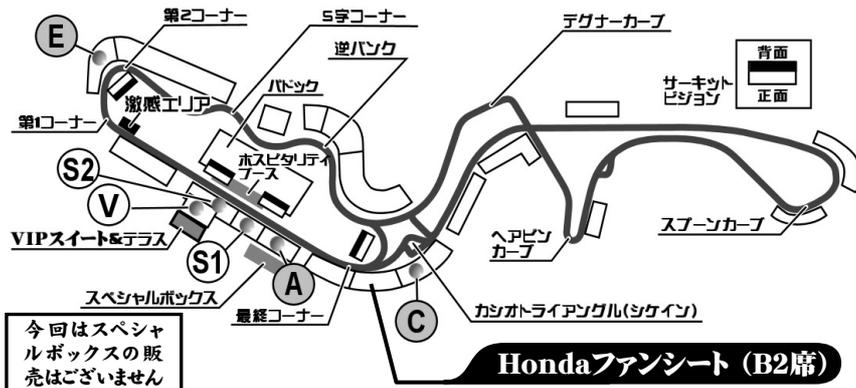
※ペア券、ファミ得チケットは人数分のプレゼントが付きます。
 ※グッズ付観戦券は予定数になりましたら終了となります。
 ※グッズ引換券はチケット送付の際に同封いたします(引換日時・場所は、引換券に明記します)。

鈴鹿サーキットのホームページ(SUZUKA ONLINE)でHondaファンシート(前売観戦券)ご購入の方、先着2,000名様にHondaオリジナル応援グッズをプレゼント!



Hondaファンシートの様子

今回はTOYOTAファンシートも設置決定! 詳細は後日鈴鹿サーキット公式HP等でご案内いたします。



●ピットウォーク●

レーシングマシンをもっと間近でみたい! マシンやキャンギャルを撮影したい! お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加下さい。



ピットウォーク券 (税込)		
	大人(中学生以上)	小学生以下
土曜日	2,000円	無料
日曜日	2,000円	

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。
 ※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。
 ※小学生以下は無料です。

●パドックパスは特典がいっぱい！●

★パドックパスは特製カード型パドックパス！

鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製カード型パドックパスを限定販売。パドックパスのカードフェイスは、公式ポスターをイメージしたデザイン(パドックパスA・Bそれぞれにシリアルナンバー入り)。鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

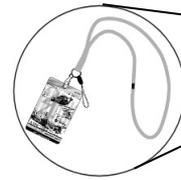
※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡しします。
(当日、レース場入口指定席券売所にて、お渡しいたします。)
※子供(3歳~小学生)パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。



激感エリア(第1コーナー手前イン側)

★間近に迫力を感じたければ「激感エリア」がおすすめだ!!

より近くでレースを体感したいと望むファンに向けて、パドック内第1コーナー手前イン側に『激感エリア』が設定される。空気が震えるのが伝わるほどの至近距離での観戦は、一度体験したら、その迫力に魅せられることは間違いのない!!
※激感エリアへのご入場にはパドックパスが必要です。
※各レース決勝スタートから3周まで、安全確保のためご入場いただけません。



※写真は2&4レースでのパドックパス



パドックパス(税込) 別途観戦券必要		
	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックパスA	16,000円	2,000円
パドックパスB	10,000円	1,500円

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスAはピット上ホスピタリティーブースでもご観戦いただけます。パドックパスBはピット上へのご入場がいただけません。
※パドックパスをご購入いただいたお客様は、A・C・Eエリアでのご観戦、激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。
※ホスピタリティーブース上から直接ピットウォークの並び列にお入りいただく事はできません。パドックの並び列より、順番にお並びいただけます。
※前売パドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

★ワンランク上の観戦エリア - ホスピタリティーブース -

レースの迫力をより間近に感じていただけ、ゆったりとより快適にご観戦いただけるのが、ピット上のホスピタリティーブース。マシンのピットイン、ピットアウトのチームの戦略、素早いピット作業の迫力を、まさに真下にご覧いただけます。大屋根の下でゆったりとモニター観戦できるのもホスピタリティーブースの魅力です。
※ホスピタリティーブースへのご入場にはパドックパスAをお求め下さい。

●VIPスイートはグリッドウォーク付き！●

★VIP(パーソナル販売)スイートご購入特典

- スペシャルランチボックス(決勝日8/19(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券 ●大会公式プログラム ●お土産
- ピットウォーク(2日間対象) ●パドック入場(2日間対象)
- グリッドウォーク(決勝レース前のみ)
- A・C・Eエリア入場 ●VIPテラス入場(V席購入者と共有)

VIPスイート(パーソナル販売)(税込)
土・日2日間有効・観戦券込

45,000円

※3歳以上有料(飲料・食事は大人同様となります。)
※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。
※パドックアクセスは、パドックパスBの扱いとなり、パドック・ピットウォークがお楽しみいただけます。またA・C・Eエリア、激感エリアでのご観戦いただけます。(ピット上への入場はできません)
※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。
※お申込み後のキャンセルは一切できません。
■お申込みは鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで
■お申込み受付期間:7月19日(木)~8月12日(日)10:00~16:00

●VIPテラスも特典いっぱい！●

★VIPテラス(パーソナル販売)ご購入特典

- スペシャルランチボックス(決勝日8/19(日)のみ)
- フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
- 駐車券 ●大会公式プログラム
- ピットウォーク(2日間対象)
- パドック入場(2日間対象) ●A・C・Eエリア入場

VIPスイート(パーソナル販売)(税込)
土・日2日間有効・観戦券込

23,000円

※VIPスイート(5階)へは、ご入場できません。あらかじめご了承ください。
※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。
※パドックアクセスは、パドックパスBの扱いとなり、パドック・ピットウォークがお楽しみいただけます。またA・C・Eエリア、激感エリアでのご観戦いただけます。(ピット上への入場はできません)
※お申込み後のキャンセルは一切できません。
■お申込みは鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで
■お申込み受付期間:7月19日(木)~8月12日(日)10:00~16:00

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	6月22日(金)~8月18日(土)まで(販売時間 10:00~17:00)
※6月18日(月)~21日(木)の間、休業とさせていただきます。	
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	7月19日(木)~8月12日(日)まで(販売時間 10:00~16:00)
※6月18日(月)~21日(木)の間、休業とさせていただきます。	
■インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/]	7月19日(木)10:00~8月12日(日)まで (24時間受付)
6月19日(火)~8月18日(土)(一部販売期間が異なる店舗がございます。)	
●電子チケットぴあ ●セブンドリーム・ドットコム ●イープラス ●GN プレイガイド ●ローソンチケット ●セブンイレブン ●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス ●am/pm	
●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>	
※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。	
チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)	

鈴鹿サーキットは園内施設の点検・整備のため、6/18(月)~6/21(木)の4日間を休業とさせていただきます。